

近年大きな変化が

平成 25 年度(現高校 2 年生)の選抜

① 私学への就学支援が引き続き実施された。

★平成 23 年度、24 年度に続き“国・大阪府からの就学支援”があり、私学を選択しやすい状況はあった。

★しかし「支援は授業料だけ(教科書代他は変わらず有償)」「授業料1期分は一旦納入する」等が広く理解されたこともあり、私学専願受験する人は減った。

② 前期・後期選抜の再編

★後期だけで選抜を実施していた普通科(専門学科を併置していない学校)や普通科総合選択制などの高校について、募集人員の一部を前期に分割する。(右に一覧表)

★前期比率の抑制という観点から、1校あたりの分割募集数は2学級（80名）までとする。

★前期においては、「3教科型の学力検査」に合わせて、受検者の能力・適性や意欲を見極める手段として「特色ある選抜方法」を実施する。(→実技検査、面接、小論文等)

③ 選抜日程の繰り上げ

★前期・後期とも実施時期が約1週間早くなった。

★私学の入試は変わらないので、公立を受けるにあたっては今までよりも早く決めないといけない。

★後期の出願期間が 2 日間に減った。

平成26年度(現高校1年生)の選抜

① 普通科の学区撤廃

★府下の公立高校のうち、普通科・普通科総合選択制の高校においては、保護者・受検者の居住地により受検できる高校が決められていた（４学区制。うち十三中学校の校区は１学区）が、府下全域の受検が可能になった。

② 「高等学校等就学支援金」制度の変更

★平成 26 年 4 月以降入学生から、「市町村民税所得割額」が 30 万 4200 円（年収 910 万円程度※目安）以上の世帯では、公立高校でも授業料を負担することになった。

詳細は進路学習や進路説明会でお知らせします。

大阪府公立高等学校(昼間の高等学校)入学者選抜の変更点の概要

平成 24 年度選抜まで	前期選抜		後期選抜	
	学力検査	学力検査 *以外	学力検査	学力検査 *以外
全日制 普通科単位制	国数英社理	×		
全日制 専門学科	国数英	△		
全日制 総合学科(クリエイティブ [®] スクール 除く)	国数英社理	○		
全日制 普通科(専門学科併置校)				
全日制 普通科(専門学科併置校 除く) 普通科総合選択制			国数英社理	×
クリエイティブ [®] スクール			国数英	○

○ 実施 △ 一部で実施 × 実施しない

平成 25 年度（現高 2）選抜～	前期選抜		後期選抜	
	学力検査	学力検査 * 以外	学力検査	学力検査 * 以外
全日制 普通科単位制	国数英	○		
全日制 専門学科				
全日制 総合学科(クリエイティブスクール除く)				
全日制 普通科(専門学科併置校**)			国数英社理	×
全日制 普通科(専門学科併置校除く)	国数英	○		
普通科総合選択制				
クリエイティブスクール				

○ 実 施 × 実施しない

(注1) *は実技検査、面接、小論文等を指す。

(注2) **平成26年度選抜より、夕陽丘高校・東住吉高校では前期40人募集あり。

(注3) いずれの場合も選抜資料として調査書を用いる。

「平成 27 年に入学する者の選抜」という意味なので、イコール「現在の中 3 の入試」です。

平成27年度大阪府公立高等学校入学者選抜の主な日程

選抜の種類	出 願	学力検査	合格者発表
前期入学者選抜	平成27年 2月16日(月)・17日(火) 〔専門学科のうち音楽科については、平成27年2月3日(火)・4日(水)〕	平成27年 2月23日(月)	平成27年 3月2日(月)
後期入学者選抜	平成27年 3月9日(月)・10日(火) 〔通信制の課程については、平成27年3月8日(日)・9日(月)・10日(火)〕	平成27年 3月16日(月) 〔通信制の課程については実施せず〕	平成27年 3月23日(月)

※ 詳しい事は後日発表されます。

将来の自分のために、今できること…

朝、早めに起きて余裕をもって登校しよう！

5 分間早く登校するだけでも、心に余裕を持って学習の準備ができます。朝早めに起きる習慣があると、何かがあっても対処することができます。

高校に行っても社会に出ても「毎朝決まった時間に決まった場所に行く」のは基本中の基本です。中学 3 年生の皆さんは遅刻している場合ではありません。

あせらない。あきらめない。

目の前のことに取り組める人が、成し遂げることができる人です。

まず、授業を大事にしよう。